

保 存

タイ国
生産性向上プロジェクト
計画打合せ調査団報告書

1996年11月

JICA LIBRARY



1226461 [0]

国際協力事業団

鉦開協

JR

96 - 25

A
ARY

タイ国
生産性向上プロジェクト
計画打合せ調査団報告書

1996年11月

国際協力事業団



1226461 [0]

序 文

タイ国政府は適正水準の経済成長立の維持、地方への所得と経済発展成果の分配、人的資源、生活の質、環境、自然資源開発の一層の推進を目的とし、1991年10月から第7次5カ年計画（1992～1996年）を実施している。

その一環としてタイ国政府は、1962年に国際労働機関（ILO）と協力して工業省の傘下に設立された「タイ経営開発生産センター」（TMDPC）を強化し、タイ国において生産性概念を普及することを計画し、1991年7月に我が国に対してプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

この要請を受けて我が国政府は、国際協力事業団（JICA）を通じて1993年3月、1993年8月、1994年2月、3度にわたる調査団を派遣し、プロジェクト実施にかかる責任分担、技術協力全体計画等を取りまとめ、1994年2月18日より5年間のプロジェクトを開始した。

プロジェクト開始以降、折り返しを経過した時点における、また、先方実施機関の移行後1年を経過した時点における、プロジェクトの進捗状況の確認及び今後のプロジェクト運営に関し、タイ側と協議を行うため、今回、計画打合せ調査団を派遣した。

本報告書は同調査団の調査結果を取りまとめたものである。ここに、本調査団の派遣にあたり、ご協力をいただいた日本・タイ両国の関係各位に対し深甚の謝意を表するとともに、併せて今後のご支援をお願いする次第である。

1996年11月

国際協力事業団

鉱工業開発協力部

部長 松 澤 憲 夫



調印直後（工業省にて）

目 次

序 文
写 真

| | |
|---------------------------|----|
| 1. 概 要 | 1 |
| 1-1 調査団派遣の経緯 | 1 |
| 1-2 調査団派遣の目的と主な調査事項 | 1 |
| 1-3 調査団員の構成 | 2 |
| 1-4 調査日程 | 2 |
| 1-5 主要面談者 | 3 |
| 2. 調査結果 | 4 |
| 2-1 調査結果 | 4 |
| 2-2 技術移転計画 | 7 |
| 2-3 研修計画 | 9 |
| 2-4 機材計画 | 11 |
| 2-5 その他 (PDM) | 11 |
| 3. 団長所感 | 13 |
| 付属資料 M/D | 15 |

1. 概 要

1-1 調査団派遣の経緯

タイ国政府は1962年、ILO（国際労働機関）と協力し「タイ経営開発生産性センター（TMDPC）」を工業省工業振興局の下に設立し、生産性及び経営開発の推進を行ってきた。しかしながら、近年厳しくなる近隣諸国との競争、多様化する産業界に対応するにはTMDPCの設備及び人材では十分対応できない状況になっている。タイ政府はTMDPCの機能を強化し、タイ国全土に生産性運動を普及することを計画し、その実現のため、「生産性向上」の指導員の育成にかかわる技術協力を日本側に要請した。

この要請を受けて我が国政府は、国際協力事業団（JICA）を通じて1993年3月に事前調査団を派遣し、要請の背景、計画の妥当性、協力の規模を調査し、その後さらに協力内容の詳細を詰めるため長期調査員の派遣を経て、1994年2月に実施協議調査団を派遣して討議議事録（R/D）の署名を行った。本プロジェクトは、同討議議事録に基づき、1994年2月18日から5年間にわたる技術協力計画が開始されたが、1995年9月に先方実施機関が新組織「タイ生産性研究所（Foundation of Thailand Productivity Institute）」に移管し、1996年10月現在、5名の長期専門家が派遣され技術協力中である。

1-2 調査団派遣の目的と主な調査事項

本調査はプロジェクト開始後、約2年8カ月が経過し、先方実施機関が移行してから1年が過ぎた時点における、プロジェクトの進捗状況及び今後のプロジェクト運営に関してタイ関係者と下記について協議した。

(1) 暫定実施計画（TSI）の進捗状況

1. 日本側：活動、専門家派遣、研修員の受入れ、機材供与
2. タイ側：建物、設備の整備状況、組織、カウンターパート（C/P）の設置、ローカルコスト負担

(2) 技術協力計画の進捗状況

(3) その他プロジェクト運営上の問題

1-3 調査団員の構成

| | 担 当 | 氏 名 | 所 属 |
|-----|---------|-----------|-------------------------------------|
| 団 長 | 総 括 | 広 田 博 士 | 通商産業省 通商政策局 技術協力課 課長 |
| 団 員 | 技術移転計画 | 千 葉 昌 胤 | 財団法人 社会経済生産性本部 国際協力本部 海外技術協力部 部長 |
| 団 員 | 機材研修計画 | 須 永 眞 理 子 | 財団法人 社会経済生産性本部 国際協力本部 海外技術協力部 |
| 団 員 | 業 務 調 整 | 安 達 秀 行 | 国際協力事業団 鉦工業開発協力部 鉦工業開発協力課 |

1-4 調査日程

| | 月 日 (曜) | 調 査 内 容 |
|---|------------|---|
| 1 | 10月28日 (月) | 成田⇒バンコク (JL717 11:00⇒15:15) 専門家との打合せ |
| 2 | 29日 (火) | JICA 事務所打合せ、日本大使館表敬、DTEC 表敬 ETPIとの協議 (第1回) |
| 3 | 30日 (水) | ETPIとの協議 (第2回) |
| 4 | 31日 (木) | 工業省次官表敬 ETPIとの協議 (第3回) |
| 5 | 11月1日 (金) | ETPIとの協議 (第4回) 議事録案作成 |
| 6 | 2日 (土) | 資料整理 |
| 7 | 3日 (日) | 資料整理 |
| 8 | 4日 (月) | 合同委員会、M/D署名 JICA 事務所、大使館報告 団長帰国 (JL717 11:00⇒15:15) |
| 9 | 5日 (火) | 帰国 (TG672 08:10⇒16:00) |

1-5 主要面談者

(1) 工業省

| | |
|-----------------------|----------------------------|
| Mr. Pricha Attavipach | Permanent Secretary |
| Mr. Thamnu Vasinonta | Deputy Permanent Secretary |
| Mr. Manu Leopairote | Director - General, DIP |

(2) DTEC

| | |
|-------------------|--|
| Mr. Nipon Sirivat | Chief, Japan Sub - Division External Cooperation Division 1 |
|-------------------|--|

(3) FTPI

| | |
|-----------------------------|---|
| Mr. Prasit Tansuvan | Executive Director |
| Mr. Manussawee Dhadasih | Director, Productivity Promotion Division |
| Mr. Sangvorn Rutanarak | Director, Consulting Division |
| Mr. Pongsak Kwangsukstid | Advisor, Human Resource Management |
| Mr. Sittinath Sanpanich | Head, Consulting Group |
| Ms. Nongpan Chayaniyayodhin | Productivity Promotion Division |
| Ms. Pornchan Shantavasinkul | Productivity Promotion Division |

(4) 在タイ日本大使館

| | |
|-------|-------|
| 東條 吉朗 | 二等書記官 |
|-------|-------|

(5) タイ生産性向上プロジェクト

| | |
|-------|-----------|
| 中澤 實 | チーフアドバイザー |
| 斉藤 正史 | プロジェクト調整員 |
| 鈴木 甫 | 長期派遣専門家 |
| 井上 安彦 | 長期派遣専門家 |
| 片岡 澄夫 | 長期派遣専門家 |

(6) JICAタイ事務所

| | |
|-------|----|
| 隅田 栄亮 | 所長 |
| 小川登志雄 | 所員 |
| 林 浩史 | 所員 |

2. 調査結果

2-1 調査結果

| 調査項目 | 現状及び問題点 | 調査結果 |
|--|--|---|
| <p>I. 暫定実施計画の進捗状況</p> <p>1. 日本側</p> <p>1) 専門家派遣</p> <p>a. 長期</p> | <p>1996年派遣実施</p> <p>1. リーダー（中澤 實） 1994/ 6/30 - 1997/ 6/29</p> <p>2. 調査員（齊藤正史） 1994/11/19 - 1997/11/18</p> <p>3. 生産性向上コンサルティング（鈴木 甫） 1994/ 5/25 - 1997/ 5/24</p> <p>4. 人材育成・労使関係（永田義人） 1994/ 5/30 - 1996/ 5/29</p> <p>5. 生産性普及促進及び調査（小崎俊彦） 1994/ 6/15 - 1996/ 6/14</p> <p>6. 生産性普及促進及び調査（井上安彦） 1996/ 6/11 - 1998/ 6/10</p> <p>7. 人材育成・労使関係（片岡澄夫） 1996/ 6/25 - 1998/ 6/24</p> <p>1997年度計画</p> | <p>長期専門家の派遣実績をM/Dに記載した。</p> |
| <p>b. 短期</p> | <p>1995年度実績</p> <p>1. 機材据付（2名） （隅田 一郎）95/ 9/25 - 10/7 （網取 良雄）95/ 1/25 - 10/8</p> <p>2. 生産性促進普及 （井上 安彦）95/12/ 3 - 12/28</p> <p>3. コンサルティング技法 （土屋 茂機）95/12/10 - 96/ 3/10</p> <p>4. 機材据付・指導 （石村 隆）95/12/ 3 - 96/12/28</p> <p>1996年度実績計画</p> <p>1. コンサルティング技法（3名） （土屋 茂機）96/11/25 - 97/ 3/31 （野田 卓司）97/ 3/15 - 97/ 5/15 （大石 昌宏）96/11/20 - 96/12/19</p> <p>2. 生産性促進普及 （佐瀬 徹）97/ 1/05 - 97/ 2/04 （徳田 重祥）97/ 1/26 - 97/ 4/11</p> <p>3. 人材育成・労使関係 （清水 雅義）97/ 3/ 1 - 97/ 3/31</p> <p>1997年度計画</p> | <p>C/P増員に伴い、専門家派遣増員の要望が出されたが、短期専門家派遣により補うことで合意した。</p> <p>本年度は6名の短期専門家の派遣が予定されているが、11月から97年3月にかけて派遣される旨説明し、M/Dに記載した。</p> <p>来年度の短期専門家はコンサルティング技法においては生産システム、工場管理、裾野産業（自動車部品、電器/電子産業、機械、メタル）、人材育成/労使関係においては貸金管理、付加価値分析、生産性普及促進においては普及促進、生産性測定分野の要望が出されM/Dに記載した。</p> |

| 調査項目 | 現状及び問題点 | 調査結果 |
|-------------------------|---|---|
| 2) 研修員の受入れ | <p>1995年度実績(2名) 1996年度計画(3名) Mr.Sitthinath Mr.Suchart Mr.Thanya</p> <p>本プロジェクトのスキームではないが、C/Sコース生産性運動中堅指導者研修を本年度より3年間実施を予定。(本年度は8名9月22日～11月2日)</p> <p>1997年度計画 3名受入れ予定</p> | <p>①本年度は3名のC/Pを9年1月21日～2月8日まで受け入れる計画であることを確認し、A2-3フォームは既にDTECに提出済みであるとの説明があった。</p> <p>②現場のいいシステムを見せることがC/Sコースの目的であるが、検討会では人事、労務、採用から財務に及ぶ質問がC/Pより出され、一人のコースリーダーで裁き切れるものではなかった。</p> <p>③C/P増員のため6名の要望が出されたが、予算枠内で調整される旨説明し、先方の了解を得た。</p> |
| 3) 供与機材 | <p>1996年度供与機材 本邦調達分 ベーターカムビデオコーダー、ビデオプレーヤー、3CCDビデオカメラ等のAV機器総額約1,430万円 現地調達分 オーバーヘッドカメラ、AV付属機器等の研修室用AV機器約603万円</p> <p>1997年度供与機材計画</p> | <p>①本年度供与される予定のAV機材は現在、外部からのレンタルでプロモーションビデオを作成しているが、そのレンタル料が予算を圧迫しており、早い到着を希望する旨説明があった。本調査団帰国後、調達部に確認をとったところ、2月末納品、3月船積みの予定、その旨プロジェクトに報告した。</p> |
| 4) プロジェクトの予算管理 | <p>業務調査員がプロジェクトの予算管理を行っている。</p> | <p>②6年度供与機材、ビデオテロッパーが、到着時以来作動していない旨説明があり、事実関係を確認し、対応を検討する旨伝えた。</p> <p>③来年度の供与機材はポータブルプロジェクターに接続するコンピューターシステムの要望が出された。</p> |
| 2. タイ側 | | |
| 1) 建物施設等プロジェクトサイト基盤整備状況 | <p>ブーンポンタワー、19階を利用しているが、その後20階が拡張されC/Pルームとなった。</p> | <p>ビルの契約は98年2月以降、4～5年間契約の更新がBOD決定された旨説明があった。</p> |
| 2) 機材措置及び維持管理 | <p>既供与機材はAV機器/機材、車両等。</p> | <p>6年度供与機材の利用状況は良好である。</p> |
| 3) 組織、カウンターパート、職員の配置 | <p>Executive Directorが未だ兼務であり、Training & ConsultingのDirectorが空席のままでありFTPIの体制作りが遅れている。</p> | <p>今後のC/P採用は、可能な限り企業経験者の採用を、強く先方に要望した。</p> |
| 4) ローカルコスト負担 | <p>FTPIの96年の予算は昨年度の繰り越しを含め94.33百万バーツである。 94～99年までは100%政府が資金を提供、その後は政府予算20%、自己収入80%で賄う体制となる。 コストシェアリング研修コース(CSコース)負担、独自予算による2名の短期専門家招聘など予算の使われ方を見ても、FTPIは積極的である。</p> | <p>コンサルティング部長に11月1日をもって、米国で25年企業経験のある、Mr.Sahgvornが着任した。</p> |

| 調査項目 | 現状及び問題点 | 調査結果 |
|---|---|---|
| <p>II. 技術協力計画の進捗状況</p> <p>1) 生産性コンサルティング技術</p> <p>2) 人材育成・労使関係</p> <p>3) 普及促進・調査</p> | <p>1997年度予算計画</p> <p>C/Pトレーニングの一環としての、企業でのコンサルティングOJT、マネージメントガイダンスOJTの実施などを通して技術移転を行っている。</p> <p>オンサイトトレーニング、中間管理者セミナーの開催。HRDに比重を置いたC/Pが1名のみである。</p> <p>ミーティング形式のトレーニング、集中講義、生産性統計のための企業訪問。生産性に関する制作ビデオをテレビで放映した。</p> | <p>97年予算は101百万バーツの予定であり、99年までの予算計画をM/Dに添付した。</p> <p>プロジェクト終了時に Senior Consultant 2名、Associate 8名、合計50名の育成が計画されており、人材育成計画をM/Dに別添した。</p> <p>コンサルティングの中から今後、半年内にその適性を見極めて人材育成コンサルの育成を計画。</p> <p>現在、普及促進6名、調査3名。QWL開発等を進め、最終的に17名の育成を計画。</p> <p>AV部門は現在6名活動、プロモーションビデオ作成を行っている。</p> |
| <p>III. プロジェクト運営上の問題点</p> <p>1. Technical Cooperation Program 及び Annual Work Plan</p> | <p>技術協力計画 (TCP) は作成されている。</p> | <p>本案件のTCPと本年度及び明年度のAWPを確認しM/Dに添付した。</p> |
| <p>2. 先方の予算の将来展望</p> | <p>上記2.4)にあるとおり2000年から政府予算は80%削減される予定。</p> | <p>コンサルティング部門ではISO 9000、ISO 14000グループが既に研修、コンサルティング業務を開始しており、FTPIの将来性は企業のニーズに即したコンサルティングを行える、コンサルタントをいかに育成できるかにかかっており、それが現時点の最大の課題である旨説明があった。</p> |
| <p>3. C/P養成の人数計画</p> | <p>94年2月に調印されたR/D時のミニッツでは Technical Staffを98年までに40名に増やす計画が記載されている。</p> | <p>人材育成/労使関係はコンサルティング部門の20名の中からC/Pの適性を見て分化していくが、現在2名の候補者がいるが、今は指名できる段階にはない。コンサルティング部門は人材育成も含め、最終的には50名となるが、30名の Trainee は Senior、Associate が育成する。普及促進は現在9名、今後さらに9名の採用を予定。AVは6名のままである。</p> |

2-2 技術移転計画

I. 技術協力計画の進捗状況について

(1) 技術協力の3分野中、生産性コンサルティング技法においては、現地企業を訪問してのコンサルティングOJT及びオンサイト マネージメント ガイダンスOJT等による成果が着実にあがってきている。また人材育成・労使関係、普及促進及び調査の分野では本年6月に長期専門家の交替があり、赴任以来周到な技術協力計画を作成してきた。人材育成・労使関係は生産性コンサルティング技法を基礎として技術移転を行う必要があるため、現段階ではC/Pは生産性コンサルティング技法から分化するには、未だ多少時間が必要であり、専門家はコンサルティング技法分野の専門家と協力しあいOJTによる技術移転を行っている。普及促進及び調査分野においてはレクチャー、ミーティング、企業訪問を行っており、今後、QWL委員会設置等を含めた展開が計画されている。

(2) Executive Directorのプラシット氏に常任をお願いしたが、サムヤム・セメントのTQCの責任者でもあり常任は難しい状況であるが、しかしながら、同氏の現役企業家としての見識は、生産性向上プロジェクト推進のうえでかなりプラスに作用していると言える。

プロジェクト実施機関がFTPIに移行して以来、体制上の問題として懸案となっていたコンサルティング部ダイレクターの空席は、米国企業で25年の経験（在米）を持つサグフォーン氏が、11月1日をもって着任となった。同氏は当面、C/Pとして生産性コンサルティング技法及び人材育成・労使関係の両分野の研修プログラムに参加することになっており、今後が期待される。

(3) 生産性コンサルティング技法/人材育成・労使関係のC/Pは現在20名（うち7名は企業経験が無いためサイヤム・セメントで来年4月まで研修中）、97年に14名、98年に16名採用する計画のため、計50名となる。普及促進及び調査の現在のC/Pは15名（ただし、うち6名は視聴覚関係のC/P）、97年に5名、98年に4名、計24名となる計画である。

(4) 6月に帰国した普及促進（AV）の専門家により既に技術移転を終えているAVセッション、6名のC/Pにより制作されたFTPIのプロモーションビデオは、要領よく簡潔にまとめられており、普及活動に大いに活用してもらいたい。

II. 課題

(1) 生産性コンサルティング技法分野において、C/Pの人数が多く1人の専門家では対応しきれない状況にあり、今後さらにその数を増やす計画であることから、技術移転の方法に

つき計画的に実施する必要がある。そのためには上位C/P陣のレベルアップを図り、C/Pから新規採用C/Pへの体系的技術移転方法の確立、短期専門家の派遣人数を増やすことは得策ではあるが、予算的制約もあるので、より計画的な短専派遣により効率的な技術移転を図る、専門家間の連携等が一層必要である。

(2) 現在、生産性コンサルティング技法のトレーニングを受けているC/P20名（そのうち7名は企業に研修中）の中から何人かを、総合的能力を見極めて人材育成コンサルタントとして育成する計画であるが、技術移転計画に基づき、可能な限り早い時期にC/Pを人材育成・労使関係に分化し、技術移転の開始を期待する。

(3) 今後のC/P新規採用計画につき、量ではなく質の高い経験のある人材を確保すべきであることはタイ側も十分認識している。また、3分野で40名程度のC/Pであれば技術移転は無理なく行えるであろうと、R/Dに記載されているとおり、本来3名の専門家のスキームで技術移転が行える範囲内であるべきで、この時期に、それほど人数そろえに執着する必要もないであろうし、やはり、その質が大事である。さらに、プロジェクト終了時にコンサルティング部だけで50名の人数をかかえているとしたら、政府からの交付金が大幅に削減され、かつ、自立のための企業へのコンサルティング事業が走り出しの軌道に乗る前の状況では、その人件費は相当な負担となるであろうし、FTPI人事計画は将来ビジョンも含め、できる限り正確な収支予測のもと、慎重に行われるべきだ。

通常、プロジェクトでこの時期から発生するC/Pのジョブホッピングの問題も、このプロジェクトとは無縁であるとも言い切れるものでもない（このプロジェクトは企業からのジョブホッピングした人材こそがC/Pとして期待がもてるため）、多少でも頭の角にとどめ、考慮しておくべきだ。

(4) 本年度の機材供与（AV機材）は1996年12月中にしてほしいとの申し入れがあり、帰国後、本部調達部に確認をとったところ、97年2月末納品、その後船積み、よって、現地着は4月になる見込みである。FTPIに、20秒間、20回にわたるテレビによる政府広報の番組割り当てがあり、AVセッションはその作品制作、また、前述したプロモーションビデオ制作と積極的に活動を行っており、それらの作品制作にあたりAV機材をリース業者より借用し対応しているが、その借料が大きな負担になっている。本年度の供与機材の中に、それらの機材が含まれており、それが理由で、この申し入れがあった。

プロモーションビデオはFTPIが自立のため営業活動を行ううえで、有益なビジネスツールとして活用できるので、ビデオ制作にあたり、専門家も積極的に参加し、それぞれの分

野についての助言は不可欠である。

- (5) FTPIはVISIONと、それを受けて6つのMISSIONを掲げているが、タイ工業省が掲げる中小企業振興と地方産業振興政策の中で、VISIONとMISSIONをどのように位置づけし、展開していくのか具体化する必要がある。かといって、プロジェクト実施の段階でFTPIが地方産業振興にかかわってしまうとまとまりがつかず形にならない可能性がある。中小企業振興では裾野産業において比較的展開しやすいかもしれない。MISSIONのうち、この部分は長期専門家、この部分は短期専門家と、それぞれ、誰がどこを受け持つか明確にする
と専門家もより具体的にMISSIONに取り組めるかもしれない。

2-3 研修計画

(1) 生産性コンサルティング技法と人材育成・労使関係

現在及び今後採用されるC/PをTrainee - Assistant - Junior - Associate - Seniorの5段階に分け、プロジェクト終了時にSenior Consultant2名、Associate Consultant8名を養成し、合計で50名のC/Pを育成する計画である。本分野での活動はモデル企業のコンサルテーションをはじめ、工場訪問・工場実習・優良企業視察と訪問した一連の企業現場での研修が技術移転に重要な役割を果たしており、タイ産業界の協力なしでは、この分野の技術移転の成功は果たし得ないし、タイ企業の状況そのものがコンサルティングを形造ると言える。また、Bグループの7名は現在、他企業にて実務経験を積んでいる。なお、生産性コンサルティング技法と人材育成・労使関係の2分野については、C/Pの適性を見極めたうえで、何名かを人材育成コンサルタントとして育成していく計画があり、人材育成・労使関係の専門家が新しく本年度6月に着任したこともあり、適性を見極め時期を可能な限り早め、本格的な技術移転の開始を期待する。人材育成コンサルタントに対する技術移転は、①生産性概念、②企業経営、③リーダーシップ、④経営戦略、⑤人材開発、⑥マーケティング、⑦人事・労務、⑧財務管理、⑨情報管理、⑩QWL、⑪人材育成コンサルテーションの分野で非常に多岐にわたり、In-Come Productive Movementを企業で指導できるコンサルタントの育成を目指す。また、労使関係については、タイの社会的背景を考えると、かつて日本が成し得たような労使関係に基づく生産性向上をそのまま移転することは困難であり、現在のタイ社会に相応する、労使関係を上司と部下の関係でとらえ生産向上に取り組む、また、タイで労使協議制をどう作り上げていくかなどの課題、技術移転のあり方をFTPI幹部、C/Pの意見を踏まえながら、模索し、実行してもらいたい。

(2) 生産性普及促進・調査

プロデュース及びAV関係のC/Pは6名で、視聴覚教材作成を中心に普及促進にかかわっている。普及促進のC/P5名は、企業内生産性運動の普及促進をすべく、そのテクニックの研修、普及促進の教材開発及びQWLの開発等の普及促進ツールの開発についての研修を行う。また、調査のC/P3名は、調査テクニック、調査方法、生産性測定について研修を行う。この分野での長期専門家は本年度6月に着任し、一般的な普及促進活動及び調査に関する技術移転を始めたばかりである。タイ国本土に生産概念を普及するための中堅的な役割を担う指導者の育成が必要であり、短期専門家の協力を得ながら、着実に技術移転を行う必要がある。

(3) 短期専門家派遣

平成8年度の計画は生産性コンサルティング技法の分野で3名、人材育成・労使関係の分野で1名、普及促進及び調査の分野で2名が計画されている。今年6月に2名の専門家が交替となり、その後の各分野間、CS研修コース及びC/P研修との調整のため短期専門家は11月以降に集中し派遣されることになっている。

本年度枠とは別に、専門家の多忙な時期にFTPIは独自に日本から専門家を2名、それぞれ1カ月招聘し、FTPIのその処置自体は評価すべきであるが、しかし、本来R/Dはプロジェクトスキームの枠の中で、無理なく技術移転が行えることを前提に設定されており、その設定されたスキームで技術移転が困難な状況が生じたとしたら、何らかの軌道修正の道もあったのではと考えられる。

平成9年度の計画は生産性コンサルティング技法では生産システム、工場管理、サポーティング インダストリー分野（自動車部品、電気、電子、機械、メタル）での専門家派遣の要請があり、人材育成・労使関係では賃金管理、付加価値分析分野での派遣要請、普及促進及び調査では普及促進、生産性測定分野での派遣要請があった。サポーティング インダストリーについてはタイの産業界での重要なウエイトを占めていることは理解しているが、将来、業種別のスペシャリストを育成するのであればこれでもいいが、現在プロジェクトとしてこの分野を取り扱う際は、その対象をしっかりと絞り込みをしておかないと焦点がぼけて、形にならずに終わる危険性もある。

(4) 本邦研修

本年度の研修は1月下旬から3週間、3名が計画されている。今回の研修は将来タイ国内で生産性概念普及の指導者となる幹部候補生への研修であり、また、コンサルティング部で今後、新規採用される新人C/Pへの教育・指導も担うことになっている。研修内容は、

これまでタイの企業を題材として行ってきた経験を踏まえ、日本企業における生産性運動、総合的生产性向上への取り組みの現場を体験することにより、タイの現場におけるその応用を考察する内容が予定されており、企業訪問の業種については、C/PがコンサルテーションOJTで取り組んでいる自動車部品及びパッケージ印刷工場が予定され、彼らがFTPIの将来展望が描けるよう工夫する必要がある。以上のとおり、本年度のC/P研修にかけるFTPIの期待は大きく、当初6週間の研修を強く希望していたが、調整がつかず、最終的に3週間に短縮せざるを得なくなり、今後はC/P研修がCSコースのミニ版に終わらないためにも、プロジェクトにとっての研修はCSコースではなく、あくまでもC/P研修がメインの柱であるという認識のもと、前広に準備を進めておく必要がある。

平成9年度C/P研修は3名受入れであるが、C/Pの増員に伴い6名の受入れの要望が出されたが、予算枠の中で対処する旨、調査団より説明した。

当プロジェクトのスキームではないがタイ国別特設（コストシェアリング）生産性向上研修が9月から6週間、コンサルティング部のC/P8名に対し実施された。プロジェクト外のスキームとはいえ、C/P研修とは規模も違いプロジェクトへの影響が大きいことから、技術移転計画上、この研修が占める部分がある程度明確にしたかったが、研修員と調査団の帰国日が同時期であったため協議に上げることはできなかった。

2-4 機材計画

本年度分供与機材は上述のとおり、本邦購送分（放送業務用データカムシステム）は到着時期が先方の希望からかなり遅れてしまうことを除いては、予定どおり購送される見込みであるし、現地調達分（セミナールーム用研修機材）は納品も済み、既に設置が完了している。よって、今後の機材は最小限度の補足追加的な者に限定されるであろうし、それ以外の必要な機材は消耗品の類も含めFTPI側が購入するよう促していくべきである。今回も、また、ミニバスの要望が出されたが、時期的にそのような大型機材を供与する時期ではない旨、説明し、先方も了解したが、昨年の巡回指導調査団も同様の議題で協議した経緯があり、その必要性は理解するが、FTPIの財政能力からして、決して自前で購入できない物ではなく、自助努力に期待する。

2-5 その他（PDM）

PDMは昨年タイ側実施機関が変更され、仕切り直しをしたことから、その後残された期間内でプロジェクトをより形あるものにするため、活動内容をより明確化する目的で活動内容詳細を別枠でもう一欄設けた経緯があり、今回その欄の成果をさらに煮詰め直し、空白のままであった詳細活動及び指標入手手段につき協議、タイ側と合意しPDM完成に漕ぎ着けた。

指標については生産性は概念普及でもあり、C/Pの到達度、能力を目で見える形で評価に置き

換えるのは非常に難しいが、シニア、アソシエイト、ジュニアなどを評価するには基本的にC/Pから上がってくるレポートで判断するのが妥当であり、レポートの内容に加え、企業診断の方法、人との接し方、トップとのやり取りの能力なども評価の対象とすることとした。

3. 団 長 所 感

- (1) 今次ミッションは、昨年9月、先方のプロジェクト実施機関がFTPIに移管されたあと、1年あまりを経過した時点において、プロジェクトの進捗状況を確認するとともに、残された機関の運営についてタイ国と協議することが主たる目的であった。特に昨年の巡回指導ミッションが、いわば仕切り直しをした本プロジェクトの協力方針が、この1年間、具体的にいかに実行されたか、また、その方針に沿って今後の協力成果をあげることが本当にできるかを見極めることがポイントであった。
- (2) FTPIとの協議は、日本側専門家の事前の周到な準備もあって極めて効率的に行われ、FTPIと専門家との連携が良好であるとの印象を受けた。この点はタイ側も共通の認識であった。プロジェクト実施の前提条件だけに評価できるものとする。
- (3) 協議結果の詳細は報告書に記載のとおりであるが、ポイントは次の諸点。
 - 1) C/Pの確保は本プロジェクトの成否を左右する重要な問題であるが、昨年来の懸案であったCONSULTING訓練部門のDIRECTORが11月1日付で発令された。米国企業で25年の経験（在米）を持つ人物で、遅ればせながら朗報である。今後C/Pとして日本人専門家の指導を受けることになるが、本人自身、相当のキャリアを有するがゆえに一抹の不安も残るが、人柄は実直そうで期待したい。また、新規採用のC/Pは96年14人、97年16人と必要数は確保できているので質だけが問題。これまで日本が主張してきた経験者の優先採用を今回も申し入れ、先方も了承した。現実的には困難な面も予想されるので注意深くフォローすることが必要と思われる。
 - 2) 専門家の活動は、C/Pの採用とタイ企業へのコンサル指導件数が増えるにともないフル稼働状況となっているため、先方の派遣要請が強い。専門家同士の連携強化（コンサルティングと人材育成分野）により、うまく対応していると思われるが、タイムリーな短期専門家の派遣が効果的であろう。また、タイ側は独自の負担で専門家を招聘する意向も有している。特にサポーティングインダストリーの振興に重点を置きたいとのこと。
 - 3) プロモーション分野も概ね順調と見られるが、機材の到着がタイの希望では年内であり、速やかに供与できればより効果的である。
 - 4) なお、今回の協議で、FTPIから協力期間延長の希望表明がなされた。ようやく順調に動き出したので成果を確実に得たいということが真意と思われるが、今回の協議では先方の要請を聞き置くにとどめ、特段の対応はしていない。

(4) 以上のように、些細な点を除けば本プロジェクトはこの1年順調に進展したと評価できよう。先方C/Pの代表Mr.Prasitの兼務問題もタイの実情を考えればやむを得ないものとする。むしろ、生産性向上活動の産業の最前線への普及というプラス面で捉えることも必要ではないかと思われる。

ただ、本分野の技術移転は決して易しいものではないことも事実である。経営者の正しい理解を得ることは容易ではないし、現場の技術者のモチベーションをいかに向上させるかも難しい問題である。まして、短い期間にタイ国でこれらの課題を解決し生産性の向上を実現することは容易ではないと考える。

その意味で、残された協力期間をいかに効率的に運営するかが重要で、1997年はもっとも充実した協力が期待される重要な1年になる。現場でのコンサルタント指導で、できるだけ具体的な成果をあげ、タイのC/Pの信頼を得る努力が求められよう。過去1年協力の実があがってきただけに集中的に力を注げば、かなり成果もあがるものと期待される。引き続き関係者の支援をお願いしたい。

以上

付 属 資 料

M / D

THE MINUTES OF DISCUSSIONS
BETWEEN
THE JAPANESE CONSULTATION TEAM
AND
MINISTRY OF INDUSTRY
OF
THE KINGDOM OF THAILAND
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THAILAND PRODUCTIVITY DEVELOPMENT PROJECT

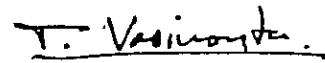
The Japanese Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Hiroshi Hirota, Director, Technical Cooperation Division, Economic Cooperation Department, International Trade Policy Bureau, Ministry of International Trade and Industry, visited the Kingdom of Thailand for the purpose of reviewing the activities of the Productivity Development Project (hereinafter referred to as "the Project") and working out the annual work plan for further promotion of the Project.

During its stay in the Kingdom of Thailand, the Team exchanged views and had a series of discussions with the authorities concerned of the government of the Kingdom of Thailand and over the matters concerning the successful implementation of the Project. As a result of the discussions, both parties agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

Bangkok, November 4, 1996



Mr. Hiroshi Hirota
Leader,
Consultation Team,
Japan International
Cooperation Agency,
Japan



Mr. Thamnu Vasinonta
Deputy Permanent Secretary,
Ministry of Industry,
The Kingdom of Thailand

The Attached Document

I. REVIEW OF THE PROJECT ACTIVITIES FOR 1996 (J.F.Y.)

I-1 Japanese side

(1) Dispatch of Experts

(a) Long-term Experts

Long-term experts are dispatched according to schedule as shown in Annex I.

(b) Short-term Experts

Six (6) short-term experts are scheduled to be dispatched between November 1996 and June 1997.

Designations and terms of the short-term experts are shown in Annex I.

(2) Training of Counterpart Personnel in Japan

Three (3) counterparts will participate in counterpart training program in Japan from January 21 to February 11, 1997. Their names are shown in Annex II.

(3) Provision of Machinery and Equipment

Thai side expressed that it would like to receive the equipment which was requested in 1996 as soon as possible.

The Team explained that it will notify the Project site soon after the Team is back to Japan in order to expedite the delivery.

I-2 Thai side

(1) Vision, Mission and Five Year Plan of FTPI

Thai side modified the Vision, Mission, and Five Year Plan as shown in Annex III.

(2) Recruitment of New CP personnel.

FTPI newly recruited personnel as CPs for the Project in 1996. The list of counterparts is shown in Annex II.

HL

HL

(3) Arrangement of Facilities

FTPI expanded office space on 20th Floor, Boonpong Tower to accommodate the increasing number of staff. It is used by Productivity consultants and Japanese experts.

(4) Organization

Organization chart of FTPI is shown in Annex IV.

(5) Assignment of the Director of Consulting Division

Thai side informed that the Director of Consulting Division had been recruited and he would be officially assigned to the title as of 1st of November 1996.

(6) Local Cost

Thai side furnished the allocation plan of local cost as shown in Annex V.

Thai side commented that FTPI had borne the cost to invite two Japanese experts and to share the cost for "The Country-focused Group Training Course on Productivity Movement in Industries for Thailand."

The Team took note of the comment.

II. DETAILED CONTENTS OF MASTER PLAN (PROJECT DESIGN MATRIX)

Regarding the detailed contents of the Master Plan, the Team and Thai side revised the Project Design Matrix (PDM) as shown in Annex VI.

This Project Design Matrix will provide the framework for implementation.

III. TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION FOR THE PROJECT

In the light of the progress to date and the present status of the Project, both sides agreed to revise the Tentative Schedule of Implementation and also formulate the Annual Work Plan as shown in Annex VII and Annex VIII.

1. Dispatch of Short-term Experts

For Japanese fiscal year 1997, Short-term experts will be assigned in the following fields:

- a) Consulting Skills
 - production system
 - factory management
 - supporting industries
- b) HRD / LMR
 - wage administration
 - value-added analysis
- c) Promotion & Survey
 - productivity promotion
 - productivity statistics

Thai side requested the increase of number of short term experts to train more CPs in 1997.

The Team answered that the number of short-term experts will be determined later based on the availability of experts and budget.

2. Training of Counterpart Personnel in Japan

Thai side requested that six (6) counterparts personnel are to be trained in Japan in 1997 (J.F.Y)

The Team answered that the number of CP training in Japan will be considered based on the budget.

3. Provision of Machinery and Equipment

Thai side expressed that in order to increase the efficiency of the training of CPs and facilitators in the model companies by the experts, it is essential for Thai side to request for the additional equipment as shown in Annex IX.

The Team acknowledged the importance of equipment required by Thai side, and explained that the equipment for the Project will be determined based on the budget availability.

IV. TECHNICAL COOPERATION PROGRAM

The Team and Thai side have jointly formulated the Technical Cooperation Program (five year plan and annual plan) as shown in Annex X.

V. COUNTERPART DEVELOPMENT PROGRAM

Thai side formulated Counterpart Development Program, which was agreed by both sides, as shown in Annex XI.

The Team required that those counterparts preferably have enough working experience in the industry.

Thai side agreed that working experience is one of the important criteria in recruiting new counterparts, and will consider candidates with working experience on preferential basis.

VI. OTHER ISSUES

(1) Joint Coordinating Committee Meeting

The third Joint Coordinating Committee Meeting was held and the matters referred to above were agreed upon.

(2) Names of participants in all the meetings are listed in Annex XII.

H

H

List of dispatched Japanese experts

ANNEX I

| Name of Expert | Designation | Term of Assignment |
|--|--|-----------------------------|
| Long-term Expert | | |
| Dr. Minoru Nakamizo | Chief Advisor | 30 June 1994 - 29 June 1998 |
| Mr. Hajime Suzuki | Consulting Skills for Productivity Development | 25 May 1994 - 24 May 1998 |
| Mr. Yoshito Nagata | Human Resources Development and Labor Management Relations | 31 May 1994 - 30 May 1996 |
| Mr. Toshihiko Kosaki | Productivity Promotion and Survey | 15 June 1994 - 14 June 1996 |
| Mr. Masafumi Saito | Coordinator | 19 Nov. 1994 - 18 Nov. 1998 |
| Mr. Yasuhiko Inoue | Productivity Promotion and Survey | 11 June 1996 - 10 June 1998 |
| Mr. Sumio Kataoka | Human Resources Development and Labor Management Relations | 25 June 1996 - 24 June 1998 |
| Short-term Expert (Dispatch on Schedule) | | |
| | Consulting Skills-3 | 25 Nov. 1996 - 31 Mar. 1997 |
| | Consulting Skills-4 | 15 Mar. 1997 - 30 Jun. 1997 |
| | Productivity Statistics | 5 Jan. 1997 - 4 Feb. 1997 |
| | Productivity Promotion | 26 Jan. 1997 - 11 Apr. 1997 |
| | Value Added Analysis | 1 Mar. 1997 - 31 Mar. 1997 |
| | Consulting Skills-5 | 20 Nov. 1996 - 19 Dec. 1996 |

List of Counterparts

I. Contact Counterpart

Mr. Prasit Tansuvan Executive Director, FTPI

II. Productivity Consultant

| | | | | |
|---------|-----|----------------|------------------|------------------------------------|
| | 1. | Mr. Sangvorn | Rutanarak | Director, Consulting Division |
| | 2. | Mr. Sitthinath | Sanpanich** | Head, Consulting Group |
| Group A | 3. | Mr. Amornrat | Sontithai | |
| | 4. | Mr. Chamluck | Khunpolkaew | |
| | 5. | Mr. Kittipong | Wiwakanond | |
| | 6. | Ms. Nuandee | Chantasuwankul | |
| | 7. | Ms. Nuchsara | Tachapunyachai | |
| | 8. | Mr. Srawut | Sittipod | |
| Group B | 9. | Mr. Warong | Yamabhai | |
| | 10. | Ms. Araya | Charoenkul | |
| | 11. | Ms. Duangrat | Chevapanyaroj | |
| | 12. | Ms. Kamoltip | Sin-Am | |
| | 13. | Mr. Prachaya | Permethongkum | |
| | 14. | Mr. Suppasak | Phonganant | |
| | 15. | Mr. Thanee | Aumor | |
| Group C | 16. | Ms. Weena | Khositsurangkul | |
| | 17. | Mr. Kijja | Tangkitiwongporn | |
| | 18. | Mr. Suchart | Yuwaree** | |
| | 19. | Mr. Thanya | Limsakoune** | |
| | 20. | Ms. Panarat | Sadiew | |
| | 21. | Mr. Pongsak | Kwangasukstid* | Advisor, Human Resource Management |

III. Promotion & Survey

| | | | | |
|--------------|-----|-----------------|-------------------|---|
| | 1. | Mrs. Manussawee | Dhadasih | Director, Productivity Promotion Division |
| A) AV | 2. | Mr. Suchote | Far-arun | |
| | 3. | Mr. Preechapon | Janpleng | |
| | 4. | Mr. Kotchakorn | Booranariththawee | |
| | 5. | Mr. Jakpetch | Pumhom | |
| | 6. | Mr. Krisana | Kalaseranee | |
| | 7. | Ms. Montakarn | Chalitpibool | |
| B) Promotion | 8. | Mr. Phajon | Chalermarn | |
| | 9. | Ms. Pornchan | Shantavasinkul | |
| | 10. | Mr. Supachai | Archiwaranguprok | |
| | 11. | Ms. Nantaka | Adireksombat | |
| | 12. | Ms. Noppakao | Siriponpaiboon | |
| C) Survey | 13. | Dr. Veerapot | Lueprasitsakul* | Advisor, Research and Information System |
| | 14. | Ms. Parichat | Sanoi | |
| | 15. | Ms. Sudarat | Kongpan | |

CP Recruitment Plan for '97 and '98 Thai FY

Consulting Skills / HRD & LMR : 14 ('97) - Group D

: 16 ('98) - Group E

Promotion & Survey : 5 ('97), 4 ('98)

* on Partial Basis

** counterpart who will be trained in Japan in 1996 J.F.Y

Thailand Productivity Institute (FTPI)

VISION

To be a national organization which is widely recognized for its leadership in its know-how with respect to productivity enhancement by having a center with up-to-date knowledge, data and information as well as having highly qualified personnel to provide guidances leading to higher productivity in business undertakings.

MISSION

1. To develop the institute comparable to those of developed countries by securing, developing and maintaining personnel of expertise in sufficient number.
 2. To provide training, consultation and other forms of guidance to all types of business, and at the same time develop outside experts in order for them to help speed up productivity effects throughout the country.
 3. To continuously promote a better understanding and awareness on the importance of productivity to all businesses and the public at large nationwide.
 4. To be a center that houses a comprehensive body of knowledge related to productivity improvement, and to develop techniques/methods suitable for Thai business setting.
 5. To furnish key government figures and government agencies with information and guidance for national policy formulation on productivity promotion.
 6. To cooperate with other national and international organizations in productivity matters.
-

FTPI FIVE YEAR PLANS RELATED TO TPDP ACTIVITIES

The fiscal year starts from October of a year before

| ACTION | 5-YEAR PLAN | | | | | Related To | | Related To TPDP Project |
|--|-------------|------|------|------|------|--------------------|------------|----------------------------|
| | 1995 | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | FTPI's Mission No. | | |
| | | | | | | Directly | Indirectly | |
| TRAINING AND CONSULTING | | | | | | | | |
| 1. CPs + Leader Training & Consulting Skills | | | | | | 1,3 | 3,6 | ○ |
| 1.1 Consulting Skills | | | | | | | | ○ |
| 1.1.1 Classroom Training | | | | | | | | ○ |
| 1.1.2 OJT (Bangkok & Nearby, Up-country) | | | | | | | | ○ |
| 1.2 HRD | | | | | | | | ○ |
| 1.2.1 Classroom Training | | | | | | | | ○ |
| 1.2.2 OJT (Bangkok & Nearby, Up-country) | | | | | | | | ○ |
| 2. Training Courses | | | | | | 2 | 3,4,6 | |
| Productivity (incl.HRD) (no.of courses) | | 84 | 84 | 84 | 84 | | | ○ |
| ISO-9000/TQM (no.of courses) | | 36 | 60 | 120 | 144 | | | ○ |
| ISO-14000 (no.of courses) | | 3 | 3 | 4 | 4 | | | ○ |
| 3. Consultancy Services | | | | | | 2 | 3,4,6 | ○ |
| Productivity (incl.HRD) (no.of companies) | | 5 | 5 | 5 | 5 | | | ○ |
| ISO-9000/TQM (no.of companies) | | 10 | 12 | 24 | 44 | | | ○ |
| ISO-14000 (no.of companies) | | 7 | 16 | 24 | 32 | | | ○ |

Note : The part on training and consulting related to the TPDP project (Item 1) will be formulated later through discussion between FTPI and the Japanese experts so that it is consistent with the Project Design Matrix and The Technical Cooperation Program.

FTPI FIVE YEAR PLANS RELATED TO TPDP ACTIVITIES

The fiscal year starts from October of a year before

| 5-YEAR PLAN | | | | | | | Related To | | Related To |
|---|------|------|------|------|------|--------------------|------------|--------------|--------------|
| ACTION | 1995 | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | FTPI's Mission No. | | TPDP Project | |
| | | | | | | Directly | Indirectly | Directly | Indirectly |
| PRODUCTIVITY PROMOTION | | | | | | | | | |
| 1. Public Relation | | | | | | | | | |
| 1.1 Grand Opening & Press Conference | | | 1 | | x | | 3 | | |
| 1.2 Mass Media Relation | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 3 | | |
| 1.3 TV Program (Introduction of FTPI) | | 40 | | | | | 3 | | |
| 1.4 Press Release | | | | | | | 3 | | |
| 1.5 Newspaper & Magazines | | 2 | 6 | 6 | 6 | | 3 | 2 | |
| 1.6 TV & Radio Program | | 50 | 50 | 10 | 10 | | 3 | | AV Equipment |
| 2. Special Project | | | | | | | | | |
| 2.1 Introduce Ways & Means of PI to industry club | | 6 | 3 | 3 | 3 | | 3 | 2 | STE/LTE |
| 2.2 Productivity Youth Camp | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 3 | | |
| 2.3 Enhance Productivity Concept via Sattelite | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 3 | | AV Equipment |
| 2.4 Special Program for the target group | | 1 | 2 | 2 | 3 | | | 2,5 | LTE |
| 2.5 QWL Project | | | | | | | | | LTE/STE |
| 3. Campaign for Productivity Activities | | | | | | | | | |
| 3.1 Special Seminar/ Productivity Talk | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 5 | LTE/STE |
| 3.2 Domestic Plant Visit | | | 3 | 3 | 3 | | 3 | 2 | |
| 3.3 Productivity Study Mission | | 4 | 3 | 5 | 5 | | 3 | 2 | |

FTPI FIVE YEAR PLANS RELATED TO TPDP ACTIVITIES

The fiscal year starts from October of a year before

| 5-YEAR PLAN | | ACTION | | | | | Related To | | Related To | |
|-------------|---|--------|-------|-------|-------|-------|--------------------|--------------|--------------|------------|
| | | 1995 | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | FTPI's Mission No. | TPDP Project | | |
| | | | | | | | Directly | Indirectly | Directly | Indirectly |
| 4. | Information Services & Member Relation | | | | | | | | | |
| 4.1 | Memberships | | 300 | 400 | 450 | 500 | | 2 | | |
| 4.2 | Resource Center | | x | 1500 | 2500 | 5000 | 3 | 4 | | |
| 5. | Foreign Relation | | | | | | | | | |
| 5.1 | APO Activities | | | | | | 6 | | | |
| | - Conference/ Seminars | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | |
| | - Scholarships | | 70 | 70 | 70 | 70 | 2 | | | |
| | - Study Missions | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | |
| 5.2 | Coordination and Exchange Information | | | | | | 6 | | | |
| | (APQC, ASQC, ILO, etc) | | | | | | | | | |
| 6. | Production Media | | | | | | | | | |
| 6.1 | VDO for technical training | | 2 | 4 | 6 | 10 | 2 | | AV Equipment | |
| 6.2 | VDO for building the productivity awareness | | 3 | 5 | 5 | 6 | 3 | 2 | LTE/STE | |
| 6.3 | Journal | | 1500 | 2500 | 3500 | 5000 | 3 | | Membership | |
| 6.4 | Newsletter | | 1500 | 2500 | 3500 | 5000 | 3 | 2 | | |
| 6.5 | Brochure | | 5000 | 5000 | 5000 | 6000 | 3 | | | |
| 6.6 | Posters | | 21000 | 30000 | 30000 | 30000 | 3 | 4,5 | | |
| 6.7 | Booklets | | 9000 | 9000 | 15000 | 15000 | | | | |

FTPI FIVE YEAR PLANS RELATED TO TPDP ACTIVITIES

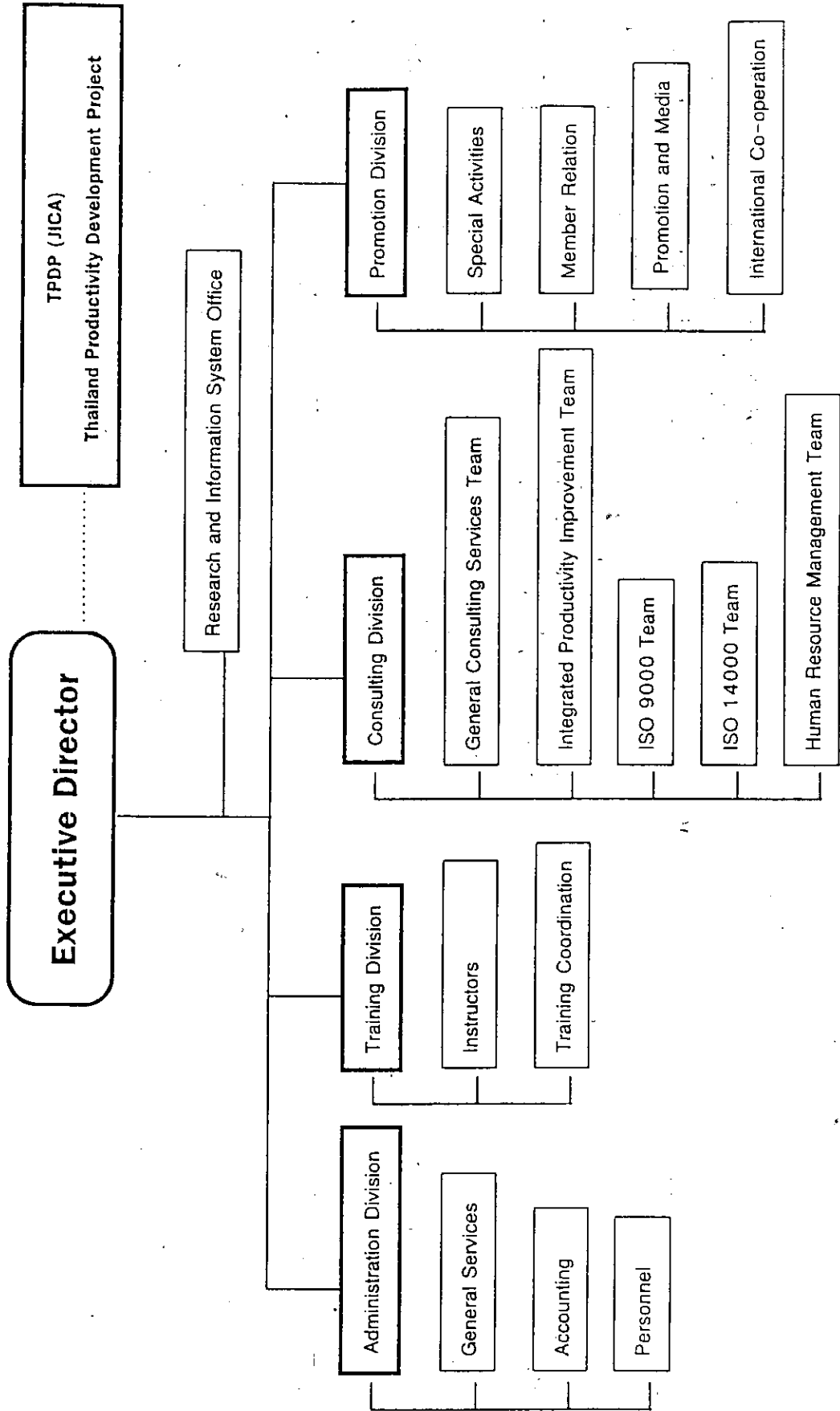
The fiscal year starts from October of a year before

| ACTION | 5-YEAR PLAN | | | | | Related To | | Related To | |
|-----------------------------------|-------------|------|------|-------|-------|--------------------|------------|--------------|------------|
| | 1995 | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | FTPI's Mission No. | | TPDP Project | |
| | | | | | | Directly | Indirectly | Directly | Indirectly |
| 6.8 Sticker | | 5000 | 5000 | 10000 | 15000 | | | | |
| 6.9 New Year Card | | 3000 | 5000 | 5000 | 15000 | | | | |
| 6.10 Calendar | | 2000 | 2500 | 5500 | 8000 | | | | |
| 7. Other Activities | | | | | | | | | |
| 7.1 Exhibition | | | 1 | | | 1 | | | |
| 7.2 Productivity Month | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | | TPDP |
| 7.3 Productivity Year | | | | | x | 1 | 2 | | STE/LTE |
| 7.4 Quality Month | | | x | x | x | 1 | | | |
| 7.5 Poster & Photo Contest | | x | | x | x | 1 | 2 | | |
| 7.6 Slogan Contest | | | x | x | x | 1 | 2 | | |
| 7.7 Top Executive Forum | | x | x | x | x | 2 | | | STE/LTE |
| 7.8 Study Mission (Govt.) | | x | x | x | | 5 | | | JICA/JPC |
| 7.9 Top Management Seminar (TPDP) | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | TPDP | |
| 7.10 Others | | | x | | | | | | |

N.B : x = to be determined

Thailand Productivity Institute (FTPI)

ANNEX IV



2

FT

ANNEX V

TENTATIVE SCHEDULE OF FTPI BUDGET ALLOCATION

(Unit : Million Baht)

| Year | 1995 | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | Total |
|-----------------------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| Staff Charges | 6.86 | 16.61 | 38.50 | 71.66 | 82.70 | 209.47 |
| Operating Expenses | 16.4 | 22.2 | 49.71 | 74.56 | 101.84 | 248.31 |
| Equipment Maintenance | 17.6 | - | - | 10.00 | 10.00 | 20.00 |
| Utilities and Others | 7.86 | 11.03 | 13.22 | 19.83 | 29.75 | 73.83 |
| Total Annual Budget | 48.72 | 49.84 | 101.43 | 176.05 | 224.29 | 551.61 |

H

H

| Narrative Summary of the Thailand Productivity Development Project | Detailed Contents of Narrative Summary of the Thailand Productivity Development Project | Objectively Verifiable Indicators | Means of Verification | Important Assumptions |
|--|---|--|--|--|
| <p>Overall Goal</p> <p>Productivity development activities will be diffused and penetrated into the enterprises in Thailand</p> | <p>Overall Goal</p> <p>To develop counterparts of FTPI, to acquire concepts, methodology and techniques for Productivity Development</p> | <p>The number of enterprises in Thailand that practice productivity development activities</p> | | <p>Enterprises in Thailand will acknowledge the importance of Productivity Development</p> |
| <p>Project Purpose</p> <p>Counterparts will acquire techniques of Integrated Productivity improvement at the National Productivity Center</p> | <p>Project Purpose</p> <p>To develop counterparts of FTPI, to acquire concepts, methodology and techniques for Productivity Development</p> | <p>The number of model companies</p> <p>The number of counterparts who are qualified</p> | <p>CP's consultation reports</p> <p>Evaluation of CP's activities by Experts</p> | <p>Enterprises in Thailand will acknowledge the importance of Productivity Development</p> |
| <p>Outputs</p> <p>A) Counterparts for productivity development activities will be fostered</p> <p>B) Leaders for productivity development activities will be nurtured through training counterpart</p> | <p>Outputs</p> <p>A) Counterparts in FTPI</p> <p>a) acquire consulting skills (Practical Approach, Practical Systems and Practical Tools such as Practical IE, Practical QC, etc.)</p> <p>b) acquire basics of HRD & LMR</p> <p>c) acquire promotion and survey techniques</p> <p>B) Facilitators in model companies, through counterparts with Japanese experts guidance, acquire knowledge and techniques to conduct Productivity Development</p> | <p>A) The number of Counterparts who are Senior Consultant Level Associate Consultant Level Junior Consultant Level</p> <p>B) The number of model companies and facilitators</p> | <p>A) Evaluation of CP's activity reports, and training materials by Experts</p> <p>B) Reports by counterparts</p> | <p>Enterprises in Thailand become prospective customers for the productivity development activities of FTPI</p> <p>The importance of raising labor productivity (Quality, Cost, Delivery, Safety and Management) will be acknowledged by enterprises</p> <p>Relations between productivity affiliated organizations (universities, enterprises, consultants) will be established</p> |
| <p>Activities</p> <p>A) -1. Formulate plans of counterpart training materials</p> <p>2. Provide assistance for preparing training curriculums</p> <p>3. Provide technical assistance for training curriculums</p> <p>4. Educate prospective counterparts</p> <p>5. Obtain necessary equipment</p> <p>6. Formulate survey plans of companies</p> <p>B) -1. Formulate model companies</p> <p>2. Collect model companies</p> <p>3. Select model companies</p> <p>4. Conduct research on productivity promotion activities in companies</p> <p>5. Analyze results of research</p> <p>6. Prepare materials for development of productivity promotion</p> <p>7. Prepare curriculums for development of productivity promotion</p> <p>8. Formulate development plans of productivity promotion</p> <p>9. Conduct productivity promotion activities</p> <p>10. Formulate plans for consultant training courses</p> <p>11. Provide assistance to trained consultants in rendering consulting services</p> <p>12. Obtain necessary equipment</p> | <p>Activities</p> <p>1. Formulate 5-year plan and Annual Work Plan for CP Training</p> <p>2. Provide CP Training Curriculum</p> <p>3. Provide CP Training Materials</p> <p>4. Conduct CP training on consulting skills</p> <p>5. Conduct CP training on HRD&LMR</p> <p>6. Conduct CP training on Productivity Promotion & Survey</p> <p>7. Provide technical assistance for Facilitators' Training</p> <p>8. Provide technical assistance for development of Productivity Promotion materials</p> <p>9. Conduct Top Management Seminar</p> <p>10. Jointly develop consultancy manual to be used as guidelines for CPs</p> | <p>Inputs</p> <p>Japanese side</p> <p>Dispatch Japanese Experts</p> <p>Supply training materials and equipment</p> <p>Conduct CP Training in Japan</p> | <p>Inputs</p> <p>Thai side</p> <p>Provide office facilities</p> <p>Provide support staff for the project</p> | <p>Trained counterparts will stay in FTPI permanently</p> <p>Top management of model companies will accept the consultation activities by counterparts</p> <p>Pre-conditions</p> <p>Counterparts with knowledge and experience in productivity development activities will be secured, based on the Counterpart Development Program</p> <p>Trained counterparts will belong to the project activities exclusively.</p> <p>The financial support of Thai government will continue during the cooperation period</p> <p>Necessary equipment will be obtained</p> |

Annual Work Plan
from November 1996 to March 1998

ANNEX VIII

| Calendar Year | 1996 | | 1997 | | | | | | | | | | | 1998 | | | |
|--|------|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|
| | Nv | Dc | Jn | Fb | Mr | Ap | My | Jn | Jl | Ag | Sp | Oc | Nv | Dc | Jn | Fb | Mr |
| <u>Japanese side</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| I. Dispatch of Experts | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. Long-term Experts | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) Chief Advisor | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) Project Coordinator | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) Consulting Skills | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) HRD & LMR | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5) Promotion & Survey | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. Short-term Experts | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (96year budget) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) Consultating Skills-3 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) Consultating Skills-4 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) Productivity Statistics | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) Productivity Promotion | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5) Value Added Analysis | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6) Consultating Skills-5 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (97year budget) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Consultating Skills | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) Production System | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) Factory Management | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) Supporting Industries | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| HRD/LMR | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) Wage Administration | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5) Value-added Analysis | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Promotion & Survey | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6) Productivity Promotion | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7) Productivity Statistics | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| II. Training of Counterpart Personnel | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| in Japan | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. General Purpose | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. Specific Fields | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| III. Provision of Machinery&Equipment | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <u>Thai side</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| I. Operation & Management of FIPI | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| II. Allocation of Operational Costs | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| III. Staff Assignment | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| IV. Submission of Application Forms | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. A-1 Form for Experts | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (Forms to be submitted three months prior to dispatch) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. A-2, 3 Form for CP Training | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (Forms to be submitted three months prior to training) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. A-4 Form for Machinery&Equipment | | | | | | | | | | | | | | | | | |

Note: The fields of short-term experts are subject to change with the guidance of long-term experts.
The number of short-term experts will be determined later based on availability of experts and budgetary allocation.

LIST OF EQUIPMENT REQUESTED BY THAI SIDE

Training Equipment

1. Laptop computer with multimedia capability
for training in model companies 2 units

2. Portable Projector (to be connected directly to item 1)
for training in model companies 2 units

TECHNICAL COOPERATION PROGRAM

ANNUAL PLAN FOR CONSULTING SKILLS (IN-COMPANY PRODUCTIVITY MOVEMENT)

| SUBJECTS | CONTENTS | '96 | | '97 | | '98 | | '98 | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---------|-----|--------|--------------|--------|---|-----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|--|
| | | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
| ☆ Training of Director, Consulting | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. CP Training (In-office & On-site) | 1) Practical Approach, Practical Systemes, and Practical Tools for In-company Productivity Movement. | a) CpC | | | b) CpA, B, C | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) Case study writing | 2) Case studies from On-site Management Guidance OJT, Consultation OJT, etc. | | CpA | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) On-site training | 3) a) Practice of Practical Tools b) Learning of Practical Systemes at good companies | b) CpA | | | | a) CpB | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | b) CpC | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. CP and Facilitator Training (On-site) | At model companies, | 95 Cds. | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) On-site Management Guidance OJT | 1) Short term program including follow up of 1), 2) and 4) | 96 Cds. | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) Consultation (pilot areas) OJT | 2) Trial of In-company Productivity Movement (6 months) | 96 Cds. | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) Consultation (company wide) OJT | 3) Full scale In-company Productivity Movement (1 year -) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) In-house Training | 4) Upon company's request | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. CP and Facilitator Training (Off-site) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) Top Management Seminar | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. Short-term Experts (96 Year Budget) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Consultation Skills - 3 (shopfloor management) | a) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| " - 4 (supporting industry) | b) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| " - 5 (| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (97 Year Budget) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Consultation Skills - 6 (production systems) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| " - 7 (factory management) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| " - 8 (supporting industry) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| " - 9 (| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| " - 10 (| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. CP Training in Japan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(CS/CpB)

(CS/CpA)

Note : *Counterparts A, B, C, D, group

2

1.1

TECHNICAL COOPERATION PROGRAM
FIVE YEAR PLAN FOR HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT & LABOR MANAGEMENT RELATION

| Japanese Fiscal Year (April-March) | 1994 | | | | 1995 | | | | 1996 | | | | 1997 | | | | 1998 | | | |
|---|------|----|-----|----|------|----|-----|----|------|----|-----|----|------|----|-----|----|------|----|-----|----|
| | I | II | III | IV | I | II | III | IV | I | II | III | IV | I | II | III | IV | I | II | III | IV |
| ☆ Training of Director, Consulting | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. CP Training (In-Office & On-Site) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) Classroom training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| a) Productivity General | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| b) Company Management Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| c) Managerial & Supervisory Development | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| d) Functional HRD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| e) Labor Management Consultation System & QWL | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| f) Productivity Consultation & HRD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) Case Study Writing | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) On-site Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. CP and Facilitator Training (On-Site) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) Management Guidance, Consultation, In-house Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. Company A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. " B | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. " C | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. " D | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. " E | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| . | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (Each company has its own schedule) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. CP and Facilitator Training (Off-site) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) Top Management Seminar | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) Facilitator Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. Short Term Experts | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Value Added | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Wage | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Value Added LMR | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. CP Training in Japan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

He

1.1

TECHNICAL COOPERATION PROGRAM
ANNUAL PLAN FOR HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT & LABOR MANAGEMENT RELATION

| SUBJECTS | CONTENTS | '96 | | '97 | | '98 | | '98 | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------|----|-----|---|-----|---|-----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|-----|
| | | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
| ☆ Training of Director, Consulting | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. CP Training (In-office & On-site) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) Classroom Training | 1) Classroom Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| a) Productivity General | a) Productivity concept | CpC | | | | | | | | | | | | | | | | | | CpD |
| b) Company Management Training | b) Overall company management | CpA, B, C | | | | | | | | | | | | | | | | | | CpD |
| c) Managerial & Supervisory Development | c) Leadership, Strategy, HRD w/ subordinates | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| d) Functional HRD | d) Marketing, Personnel, Financial Strategy | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| e) Labor-Management Consultation System & QWL | e) Management Info Opening, QWL and HRD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| f) Productivity Consultation and HRD | f) HRD Consultation and Overall Consistency | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) Case study writing | 2) Case Studies from On-site Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) On-site training | 3) Individual & Overall Issues | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. CP and Facilitator Training (On-site) | AI Model Companies | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) Management Guidance | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) Consultation | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) In-house Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. CP and Facilitator Training (Off-site) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) Top Management Seminar | 2) For each company | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) Facilitator Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. Short-term Experts | 1) Value Added Analysis (96) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2) Wage Administration (97) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3) Value Added Analysis (97) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. CP Training in Japan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

CS (B)

CS (A)

Handwritten mark

Handwritten mark

TECHNICAL COOPERATION PROGRAM
FIVE YEAR PLAN FOR PRODUCTIVITY PROMOTION & SURVEY

| Japanese Fiscal Year (April-March) | 1994 | | | | 1995 | | | | 1996 | | | | 1997 | | | | 1998 | | | | | | | |
|---|------|----|-----|----|------|----|-----|----|------|----|-----|----|------|----|-----|----|------|----|-----|----|--|--|--|--|
| | I | II | III | IV | I | II | III | IV | I | II | III | IV | I | II | III | IV | I | II | III | IV | | | | |
| 1. Training for AV Production (1) Producers 1. Orientation to the Editing Room 2. Planning programmes 3. Producing Programmes 4. Text Making (video) 5. Distribution (2) AV Staff 1. Orientation to the Editing Room 2. Operation Training 3. Text making (video) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. CP Training for Productivity Promotion & Survey (1) Productivity Promotion for In-company Productivity Movement 1. Training on promotion technique 2. Development of Promotion materials 3. Development of Promotion Tool (Motivation) (2) Survey 1. Training on survey technique 2. Conduct Survey 3. Productivity Statistics | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. CP and Facilitator Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. Top Management Seminar | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. Short-Term Expert (1) Promotion (2) Statistics | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. CP Training in Japan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

HL

1.1

TECHNICAL COOPERATION PROGRAM
ANNUAL PLAN FOR PRODUCTIVITY PROMOTION & SURVEY

| ACTIVITY | '96 | | '97 | | '98 | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----|----|-----|---|-----|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|--|
| | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
| 1. Training for AV Production (1) Producers 1. Orientation to the Editing Room 2. Planning Programmes 3. Producing Programmes 4. Text Making (video) 5. Distribution (2) AV Staff 1. Orientation to the Editing Room 2. Operation Training 3. Text Making (video) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. Training for Productivity Promotion & Survey (1) Productivity Promotion for In-company Productivity Movement 1. Training on promotion technique 2. Development of Promotion Materials 3. Development of Promotion Tool (QWL Manual) - Concept paper development - QWL Proto-type manual development (2) Survey 1. Training on survey technique 2. Conduct Survey 3. Productivity Statistics | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. CP and Facilitator Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. Top Management Seminar | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. Short-Term Expert (1) Promotion (2) Statistics | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. CP Training in Japan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

Handwritten mark

Handwritten mark

Counterpart Development Program

I. Consulting Skill and HRD/LMR

| Calendar year | 95 | | 96 | | 97 | | | 98 | | | | 99 |
|-------------------------------|----------------------|-----|----------------------|----------|-----------------------------------|----|----------|-----------------------------------|----|----|--|----------|
| Progress status of the year | | 95 | 96 | 95 | 96 | 97 | 95 | 96 | 97 | 98 | | |
| Senior Consultant | | | | | | | | 1 [*] 1 ^{**} | | | | 2 |
| Associate Consultant | | | | | 1 [*] 1 ^{**} | | 5 | 3 | | | | 8 |
| Junior Consultant | 1 [*] | | 1 1 ^{**} | 5 | 3 | | 2 (1) | 1 | | | | 3 + (1) |
| Assistant Consultant | | 7 | 3 | 2 (7) | 1 | | (6) | | 14 | | | 14 + (6) |
| Trainee | 8 | (7) | 1 | | | 14 | | | | 16 | | 16 |
| Recruited Personnel in a year | 9 [*] + (8) | | 6 | | | 14 | | | | 16 | | 50 |

* Director, *Surasit, ** Sitthinath, # Two of them discontinued joining in CP training
Number in italic : CP in Group A, () : CP in Group B

II. Promotion & Survey

| Calendar year | 95 | | 96 | | 97 | | | 98 | | | | 99 |
|-----------------------------|----|------|----|-----|----|-----------------|-----|----|----|----|--|----|
| Progress status of the year | | 95 | 96 | 95 | 96 | 97 | 95 | 96 | 97 | 98 | | |
| Professional Staff | | | | | 3 | | | 6 | | | | 6 |
| Assistant Staff | | | 3 | (1) | 4 | | (1) | 1 | 8 | | | 10 |
| Trainee | | (1) | 4 | | | 9 | | | 1 | | | 1 |
| Recruited Persons in a year | | (1)* | 7 | | | 9 ^{**} | | | | | | 17 |

* (1) : Transfer from the above CP in Group B, ** Promotion 7 Survey 2

III. Audio Visual

| Calendar year | 95 | | 96 | | 97 | | | 98 | | | | 99 |
|-----------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|----|
| Progress status of the year | | 95 | 96 | 95 | 96 | 97 | 95 | 96 | 97 | 98 | | |
| Professional Producer | 0 | 1 | | 2 | 1 | | 2 | 1 | | | | 3 |
| Professional Engineer | 0 | 1 | | 3 | | | 3 | | | | | 3 |
| Assistant Producer | 2 | 1 | 1 | 0 | | | | | | | | 0 |
| Trainee (Producer) | 1 | 0 | | 0 | | | | | | | | 0 |
| Trainee (Engineer) | 3 | 2 | | 0 | | | | | | | | 0 |
| Recruited Persons in a year | 6 | | 1 | | | | | | | | | 6 |

LIST OF ATTENDANTS IN THE MEETINGS

1. Japanese side

(1) The Consultation Team

| | |
|---|---|
| Mr. Hiroshi Hirota (Leader) | Director, Technical Cooperation Division, Economic Cooperation Department, Ministry of International Trade and Industry (MITI) |
| Mr. Masatane Chiba | Director, Overseas Technical Cooperation Department, Japan Productivity Center for Socio-Economic Development (JPC-SED) |
| Ms. Mariko Sunaga | Overseas Technical Cooperation Department, Japan Productivity Center for Socio-Economic Development (JPC-SED) |
| Mr. Hideyuki Adachi (Project Management) | Technical Cooperation Division, Mining and Industrial Development Cooperation Department, Japan International Cooperation Agency (JICA) |

(2) Embassy of Japan

| | |
|-------------------|------------------|
| Mr. Yoshiaki Tojo | Second Secretary |
|-------------------|------------------|

(3) JICA Thailand Office

| | |
|----------------------|-----------------------------------|
| Mr. Eiryō Sumida | Resident Representative |
| Mr. Toshio Ogawa | Assistant Resident Representative |
| Mr. Hirofumi Hayashi | Assistant Resident Representative |

(4) Japanese Experts of the Project

| | |
|---------------------|--|
| Dr. Minoru Nakamizo | Chief Advisor |
| Mr. Masafumi Saito | Coordinator |
| Mr. Hajime Suzuki | Consulting Skills for Productivity Development |
| Mr. Sumio Kataoka | HRD & LMR |
| Mr. Yasuhiko Inoue | Promotion and Survey |

2. Thai side

Ministry of Industry (MOI)

| | |
|-----------------------------|---|
| Mr. Pricha Attavipach | Permanent Secretary |
| Mr. Thamnu Vasinonta | Deputy Permanent Secretary |
| Mr. Manu Leopairote | Director-General, DIP |
| Mr. Prasit Tansuvan | Executive Director, FTPI |
| Ms. Manussawee Dhadasih | Director, Productivity Promotion Division, FTPI |
| Mr. Sangvorn Rutanarak | Director, Consulting Division, FTPI |
| Mr. Pongsak Kwangsukstid | Advisor, Human Resource Management, FTPI |
| Mr. Sitthinath Sanpanich | Head, Consulting Group, FTPI |
| Ms. Nongpan Chayaniyayodhin | Productivity Promotion Division, FTPI |
| Ms. Pornchan Shantavasinkul | Productivity Promotion Division, FTPI |

Department of Technical and Economic Cooperation (DTEC)

| | |
|-------------------|--|
| Mr. Nipon Sirivat | Chief, Japan Sub-Division External Cooperation Division 1 |
|-------------------|--|

20

21

JICA